

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	市民環境課(環境衛生担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	自然の番人推進事業	事業番号	12009

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	4-1	環境保全の推進
	施策目標	快適な生活環境と自然が調和したまち	

2 事務事業の目的

目的	根室管内1市4町により廃棄物の不法投棄やポイ捨てを許さず、豊かな自然環境を後世に引き継ぐことを目的に、「ねむろ自然の番人」を宣言し、不法投棄のないまちづくりを推進する。
成果	ごみのポイ捨てや不法投棄のないまちにする。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	①不法投棄防止の啓発活動 ②環境教育の実施 ③賛助団体の拡大 ④他市町村との広域的な連携						
	28	①不法投棄防止の啓発活動 ②環境教育の実施 ③賛助団体の拡大 ④他市町村との広域的な連携						
	29	①不法投棄防止の啓発活動 ②環境教育の実施 ③賛助団体の拡大 ④他市町村との広域的な連携						
	30	①不法投棄防止の啓発活動 ②環境教育の実施 ③賛助団体の拡大 ④他市町村との広域的な連携						
	31	①不法投棄防止の啓発活動 ②環境教育の実施 ③賛助団体の拡大 ④多市町村との広域的な連携						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		141	328	328	328	328	1,453
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源		141	328	328	328	328	1,453
	人員(人工)		0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	
職員費(人員×8,081千円)		2,424	2,424	2,424	2,424	2,424	12,120	
総事業費		2,565	2,752	2,752	2,752	2,752	13,573	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
		合計/年						

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	不法投棄の件数		14件	10件
ねむろ自然の番人宣言賛助団体数		19団体	45団体	70団体

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

不法投棄を確認できる絶対的な対策(防犯カメラ等)を検討する。

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	ごみのポイ捨てや不法投棄をしない、許さないという意識を市民に持ってもらう。
-------------------	---------------------------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない ごみのポイ捨てや不法投棄のない街は誰もが望むことである。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 全ての市民に広く周知する必要がある。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 年間を通して、ごみのポイ捨てや不法投棄が無くならない現状がある。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の可能性はある 不法投棄防止対策として、啓発看板以外の対策も検討する。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 全ての市民に広く周知する必要がある。市民を対象としている。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 他の市町村との広域的連携や、市民周知は、不法投棄防止に有効である。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 市民一人ひとりの意識を高めるため、出前講座等啓発活動の充実について推進されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 自然の番人宣言の賛助団体を増やすことが不法投棄防止への有効な啓発になるため、市民意識の醸成を図る啓発活動並びに賛助団体の増に向けた周知・啓発を引き続き進める。

作成年度 平成27年度